



## 愛着発達の課題に 教育現場ができること

「愛着障害」という言葉が教育現場でもよく聞かれるようになりました。その言葉が広まった背景にある先生方のご苦労に私は長年触れてきました。難しい子どもたちを相手に、自分たちのできることは何だろうと奮闘する先生方と共に歩んできました。

このたび、多くのリクエストがありましたので、少し継続的なセミナーをやってみたいと思います。このセミナーの目的は2つです。

1. 難しい子どもたちに接する際に、先生自身を助けてくれるであろう**知識**を身につけること。
2. 難しい子どもたちと学校で対峙する中で、**孤独感**を感じている先生方が、仲間と前進する感覚を得ること。

必要となさっている先生方、おひとりおひとりに、この機会が届きますように。

日程：2022年3月～2023年3月

(8月は休会)

第3金曜日 21時より22時半

オンライン (ZOOM 使用)

対象：小・中・特別支援学校の教員

(その他の所属の方は事前にご相談承ります)

定員：20名 (先着順)

12回一括払い 30,000円

(振込確認後申込受理)

参考図書

「愛着障害児とのつきあい方：特別支援学校  
教員チームとの実践」大橋良枝著

2019年 金剛出版

講師

大橋良枝

聖学院大学心理福祉学部 / 心理福祉学研究科

教授

Home page: <https://ohashi-lab.com/>

Mail: [y\\_ohashi@seigakuin-univ.ac.jp](mailto:y_ohashi@seigakuin-univ.ac.jp)

**【内容】 講義と、事例検討を交互に行います。**

**事例は1人30分、各回3人分について検討します。**

**2022年3月18日（金）概論**

教育現場で起きていることと、理論的説明を概説します。

**2022年4月15日（金）巻き込み・巻き込まれ体験**

愛着発達の問題を持った子どもたちとの関わりの中で感じられる教師の困難感について考えていきます。

**2022年5月20日（金）事例検討**

**2022年6月17日（金）孤立と被害感**

難しい子どもとの関わりに悩んでいる先生が教師集団の中でも孤立感を感じることは多いです。孤立感は個人の力を削ぎます。その理論的説明をしていきます。

**2022年7月15日（金）事例検討とまとめ**

**2022年9月16日（金）情緒の発達と認知の発達**

教員からすると認知能力に目がいきがちかと思いますが、情緒も発達するものです。そして、学校生活や学業上の適応に情緒の発達は必要です

**2022年10月21日（金）事例検討**

**2022年11月18日（金）夢想と、ネガティブ・ケイバリティ**

大橋の研究の中で、愛着発達の問題のある子どもとの関わりにおいて鍵となると考えられているのが、夢想あるいはネガティブ・ケイバリティです。それらについて説明していきます。

**2022年12月16日（金）事例検討**

**2023年1月20日（金）具体例から考える**

難しい子どもとの関わりに悩んでいる先生が、子どもたちとの関わりにやりがいを感じるに至ったいくつかの事例や、保護者対応の事例から学びます。

**2023年2月17日（金）事例検討**

**2023年3月18日（金）まとめ**

## 書籍「愛着障害児との つきあい方」より抜粋

1つだけ間違いないことは、子どもを  
あつという間に変化させる魔法などない  
ということである。子どもが成長した背  
景には、必ず子どもと教師が踏ん張り、  
固く踏みしめてきた足跡が残ってい  
る。・・・簡易に示されたモデルより  
も、このような難しい子どもたちと接す  
る教師たちが、どんな日常を送り、子ど  
もの内面への関心を途切れさせず少し  
づつ子どもたちを成長させたのか示すこと  
の重要性を感じる。それこそ、彼らの生  
きている場所について伝えることである  
し、奇しくもインタビューを受けた教師  
が語っていた、「こうやって難しい子ど  
もたちでもうまくいくんだぞっていう事  
例をたくさん公表してほしい」という願  
いに応えることになるのだと思う・・・。

参加者の皆さんが、日々の教育  
場面で手ごたえある充実したやり取  
りを、子どもたちとの間で重ねられる  
ように願って、講座を用意しました。

是非ご利用ください。

お申込み、お問い合わせは、大橋良枝メール（表面掲載）まで、ご連絡ください。

お申し込みの際は、【2022年講座申込】の件名で、①お名前、②ご所属先、③  
年齢、④教歴、⑤参加動機を書き添え、メールをいただければと思います。